



北九州市 北橋健治市長  
(北九州市HPより)

十月二十二日(水)十二時から、北九州市庁舎十五階十五C会議室で、北橋健治北九州市長と「さわやか」は、懇談会を持ちました。これは、市の企画で、市長が、昼休みを利用して、市民の声を聞くというこゝとで公募されています。「さわやか」は、この公募に応募し、抽選の結果、当選し、この日を迎えました。定刻に五分遅れて、市長が来られました。

北九州市の北橋健治市長と、十月二十二日(水)十二時より北九州市庁舎十五階十五C会議室で、「北橋市長と気軽にランチタイム」と題して「さわやか」より七名が参加し、懇談しました。この企画は、市長が、昼休みを利用して、市民の声を聞くということで、公募しており、今回十回目を迎え、「さわやか」が当選し、実現しました。

## 「福祉有償運送」を市民にもっと知って欲しい

・北橋市長にお願い

### 小倉発祥

### 「焼きうどん」でランチ

懇談会は、市から、北橋市長、小林地域支援部長、藤川市民部長が出席され、「さわやか」からは、山田理事長、梶原常務理事、岡副理事長、高原事務局長、加峯理事、貞谷事務局長、江頭相談役、七名が参加しました。双方、自己紹介をして、懇談に入りました。冒頭、市長から、「今日は皆さんのご意見を聞きます。遠慮なく、発言ください」との挨拶がありました。山田理事長が、「さわやか」の概要、実状、及びお願いを文書発言しました。



### 「さわやか」の紹介

「さわやか」は、透析患者、難病患者の通院送迎をボランティア活動によって行っている団体で、平成八年に北九州市から助成を受け、運営が開始されました。北橋市長になってから小規模作業所の運営費が五〇〇万円に上がり、運営がしやすくなりました。全国で初の、患者会が作った通院送迎事業所としてボランティアによる通院送迎が行われ、全腎協という透析患者の患者会で全国の



北橋市長と「さわやか」の記念撮影

### お願いの主旨

一、「福祉有償運送」法が制定され、規制が強化され、ボランティアによる送迎と言えない状況があります。

モデルになっています。平成十六年まで順調に推移していましたが、福祉有償運送に関する国の法律ができ、利用者や運転者の安心安全を図るという目的で様々な規制がかけられました。にもかかわらず、北九州市では他の都市と比べて規制緩和がされていて、現在は順調に運営されています。北九州市は全国的に見ても福祉の分野で大変進んでいると実感できる街です。

### 市長の回答

◆十二年間ご苦労が多かったと思いますが、頑張っていたのだと思います。例えば市民への啓発活動、知らない人が多すぎるといふことですが、今年の福祉有償運送運営協議会の席上でも同様の意見が出たと聞いています。(裏面に続く)



道路運送法とは、もともとJR、バス、タクシーを対象にしたもので、福祉有償運送法に入れ込むのが、もともと無理があります。バリアフリー新法に基づくユニバーサルプランの中に高齢者・障害者の移動等の問題をいれて検討してください。

二、「福祉有償運送」の市民への啓発をお願いします。三、ボランティアの募集を「市政だより」に掲載してください。

四、市民センターに、チラシやポスターを置かせてください。以上、四項目を、市長に直接お願いしました。

具体的にリーフレットを作り変えるとか、ホームページの内容を見直すとか、そういう作業を進めています。

### ボランティアがなかなか

集まらない

一方では、他の実施団体の方からはボランティアがなかなか集まらないという事情もあり、これ以上新規の申し込みが難しいという声も出てきているので、どのように広報を考えるか、あり方については他の実施団体の意見も聞きながら、進めていきたいと思っています。

完成したリーフレットについては、市民センターなど人目に触れやすいところに配布をしたいと考えています。

各団体が作成したチラシについては、利用者が相談に来られるのは区役所の保健福祉相談窓口や、地域包括支援センターと思われるので、そろそろ

いったところに向けて今後話を進めていくことにしています。



### 福祉有償運送団体が一堂に会して

意見交換会

バリアフリー新法ができたので、高齢者、障害者の移送サービスを具体化し、まちづくり構想等に盛り込んで欲しいというお話については、福祉有償運送の活動団体がいくつかあり、今後どのようなようにしていくか、いろいろな課題について相談をしていますので、九団体が一堂に会して意見を交換する場を設けようという方向になっています。

### サポートを強めていく

◆本市では、十年早く日本の平均よりも高齢化が進みますが、アンケートをと

ってみると、その高齢者の一割の人が、何かボランティアをやりたいと答えています。

そういう人が万単位で存在しています。世の中を明るく、いい方向にもっていくためにボランティア、あるいはNPOの人たちの活動が非常に大事だと思います。

それを市全体として活動が盛んになるように、微力ですがサポートを強めていきたいと思っています。

市として年長者研修大学校を社協にお願いしてやっています。来年ぐらいからボランティア講座という形で、ボランティア活動をいろいろな受講者に呼びかけていく準備をしています。

### 行政と何でも相談

出来る間柄

◆北九州市役所とみなさまが、フランクに何でも相談できる間柄と聞いて自分もホッとしています。同じような悩みや問題意識を持つているところもあるようなので、しっかりとまって、これからも頑張っていたきたいと思っています。

今日は短い時間でしたが、率直なお話しをお聞かせいただき、ありがとうございます。

ました。

(北九州市ホームページより抜粋)

以上が、市長からの回答の概略です。

その後、懇談に入り、市長から色々な質問が出されました。同時に市長の考えや、回答も出されました。

### ランチタイムは和やかな

雰囲気

北橋市長とのランチ・タイムは、和やかな雰囲気の

### 北九州市

### 福祉送迎問題検討会 開催

北九州市内の福祉有償運送の実施団体は、平成十九年度に、十一団体で、延べ二万三千人以上の方々が利用されています。しかし、現在、そのうち二団体が事業を廃止しました。

今年七月に開催された、運営協議会においても、昨年度実施した「外出ニーズに関するアンケート調査」を受けて、送迎サービスのあり方を広く検討する必要があるのではな

いかとの意見が出されました。これにより、「北九州市障害福祉団体連絡協議会」と連携、協力をいただきながら、次の二つの事業を実施することになりました。また、実施にあたっては、保健福祉局



中で、時には真剣な話し合いになりました。

市長自らが、私たちの生の声を直接聞いていただき「さわやか」一同、感謝の気持ちで一杯になりました。

お互いに更なる飛躍を胸に、本庁に別れをつけました。

のちをつなぐネットワーク推進課との意見交換を行い、運営協議会の委員の意見も参考に進めていくことになりました。

### 事業内容

一、送迎サービス関係者の意見交換会

障害者等団体、送迎実施団体、各区ボランティアセンター、行政関係者が集まり、意見交換会を行い、現状の問題点を話し合う。

二、送迎サービス状況調査

送迎実施団体（介護タクシー、福祉タクシー、福祉有償団体）について現状のサービス提供条件を調査し現状把握を行い情報提供を行う。